

医薬監麻発 1 1 1 5 第 1 号
令和 6 年 11 月 15 日

各都道府県衛生主管部（局）長

厚生労働省 医薬局
監視指導・麻薬対策課長
（ 公 印 省 略 ）

指定薬物の測定結果等について

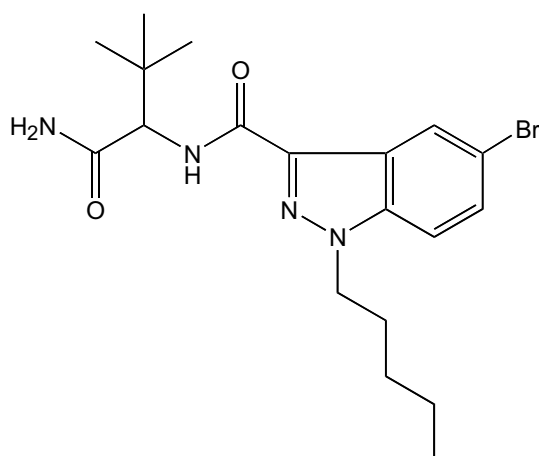
今般、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部を改正する省令」（令和 6 年厚生労働省令第 151 号、令和 6 年 11 月 6 日公布）により新たに指定薬物として指定された 4 物質、について、指定薬物の分析法（「指定薬物の分析法について」平成 19 年 5 月 21 日付け薬食監麻発第 0521002 号監視指導・麻薬対策課長通知）に基づき測定した結果等につき、別添資料のとおり取りまとめましたので、今後の指定薬物に係る監視指導等の参考として御活用ください。

資料1 指定薬物の化学構造等

令和6年 11 月6日公布の省令(令和6年厚生労働省令第 151 号)により新たに指定された4物質の化学構造等は次のとおりである。

物質 1

構 造 式：



化 学 名：

N-(1-Amino-3,3-dimethyl-1-oxobutan-2-yl)-5-bromo-1-pentyl-1*H*-indazole-3-carboxamide

化学名字訳：

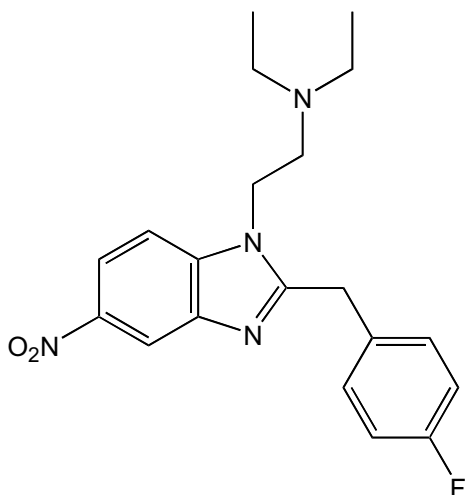
N-(1-アミノ-3,3-ジメチル-1-オキソブタン-2-イル)-5-ブロモ-1-ペンチル-1*H*-インダゾール-3-カルボキサミド

通 称 等：

ADB-5'Br-PINACA

物質 2

構 造 式：



化 学 名：

1-(2-Diethylamino)ethyl-2-(4-fluorobenzyl)-5-nitrobenzimidazole

化学名字訳：

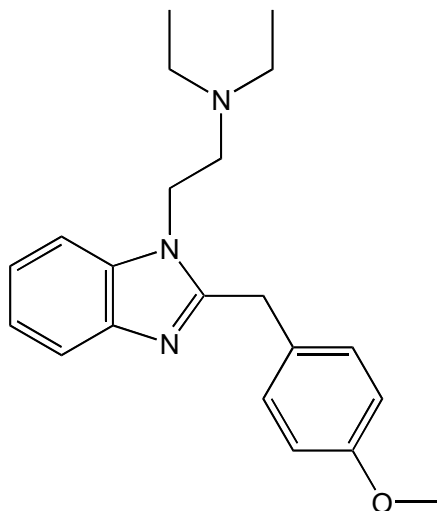
１－（２－ジエチルアミノ）エチル－２－（４－フルオロベンジル）－５－ニトロベン
ズイミダゾール

通 称 等：

Flunitazene、Fluonitazene

物質 3

構 造 式：



化 学 名：

1-(2-Diethylamino)ethyl-2-(4-methoxybenzyl)benzimidazole

化学名字訳：

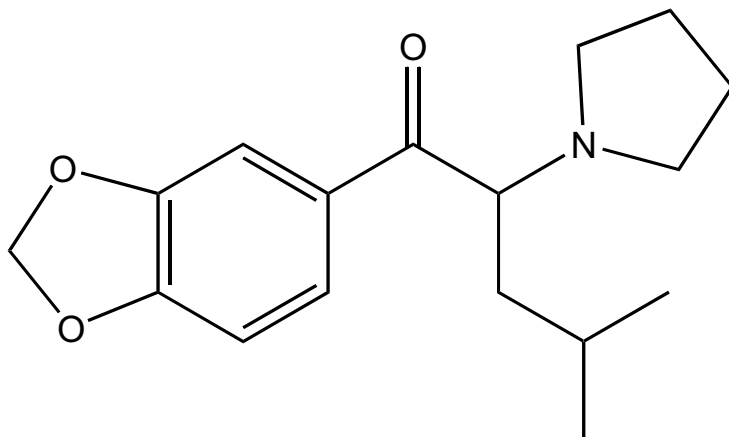
1 - (2 - ジエチルアミノ) エチル - 2 - (4 - メトキシベンジル) ベンズイミダゾール

通 称 等：

Metodesnitazene、Metazene

物質 4

構 造 式：



化 学 名：

4-Methyl-1-(3,4-methylenedioxyphenyl)-2-(pyrrolidin-1-yl)pentan-1-one

化学名字訳：

4 - メチル - 1 - (3 , 4 - メチレンジオキシフェニル) - 2 - (ピロリジン - 1 - イ
ル) ペンタン - 1 - オン

通 称 等：

MD-PiHP、MD-PHiP

参考資料 2 GC-MS 及び LC-PDA-MS の測定結果

令和 6 年 11 月 6 日の省令公布により、新たに指定薬物として指定された 4 物質(メタノール及びアセトニトリル溶液)の GC-MS 及び LC-PDA-MS による測定結果を以下に示す。

①測定条件

GC-MS

条件 1(監視指導・麻薬対策課長通知薬食監麻発第 0521002 号と同法)

カラム:HP-1MS(30 m × 0.25 mm i.d., 膜厚 0.25 µm, Agilent 社製)

キャリアーガス:He, 0.7 mL/min

注入口温度:200℃、スプリットレス、トランスファーライン温度:280℃、イオン化法:EI 法

カラム温度:80℃ (1 min hold)－5℃/min－190℃ (15 min hold)－10℃/min－310℃ (10min hold)

条件 2(合成カンナビノイドを対象とした測定条件)

カラム:HP-1MS(30 m × 0.25 mm i.d., 膜厚 0.25 µm, Agilent 社製)

キャリアーガス:He, 1.1 mL/min

注入口温度:250℃、スプリット、トランスファーライン温度:280℃、イオン化法:EI 法

カラム温度:200℃ (1 min hold)－5℃/min－310℃ (7 min hold)

HPLC-PDA-MS

条件 1(監視指導・麻薬対策課長通知薬食監麻発第 0521002 号と同法)

カラム:Atlantis T3 (2.1 × 150 mm, 5 µm, Waters 社製)

移動相 A:10 mM ギ酸アンモニウム緩衝液(pH 3.0)、移動相 B:アセトニトリル

A:B 90:10 (0 min)－80:20 (50 min)－30:70 (60 min, 15 min hold)

流速:0.3 mL/min、カラム温度:40℃、注入量:1 µL

検出:ダイオードアレイ検出器(210 - 450 nm)及び質量検出器

質量分析条件

イオン化法:ESI 法、ポジティブモード、コーン電圧:30V、キャピラリー電圧:2500V

条件 2(合成カンナビノイドを対象とした測定条件)

カラム:XBridge C18 (2.1 × 150 mm, 3.5 µm, Waters 社製)

移動相 A:0.1% ギ酸、移動相 B:0.1% ギ酸 アセトニトリル/メタノール(60:40)

A:B 50:50 (0 min)－10:90 (30 min, 10 min hold)*

流速:0.3 mL/min、カラム温度:40℃、注入量:1 µL

検出:ダイオードアレイ検出器(210 - 450 nm)及び質量検出器

質量分析条件

イオン化法:ESI 法、ポジティブモード、コーン電圧:30V、キャピラリー電圧:2500V

*平成 21 年 10 月に公布された指定薬物の分析結果通知より測定条件を一部変更

②測定結果

各測定条件における新規指定薬物 4 物質の保持時間及び、5-MeO-DMT 又は吉草酸ヘタメタゾンの保持時間を 1 とした場合の相対保持時間を下記に示す。

測定条件 1 (監視指導・麻薬対策課長通知薬食監麻発第 0521002 号と同法)

Compounds	GC-MS 条件 1		LC-PDA-MS 条件 1	
	Retention time (min)	Relative retention time 5-MeO-DMT = 1	Retention time (min)	Relative retention time 5-MeO-DMT = 1
Flunitazene	50.40	1.78	45.9	5.74
Metodesnitazene	47.87	1.69	8.3	1.04
MD-PiHP	35.73	1.26	36.5	4.56
[参考値]				
ADB-5'Br-PINACA	50.68	1.79	61.9	7.74
5-MeO-DMT	28.25	1.00	8.0	1.00

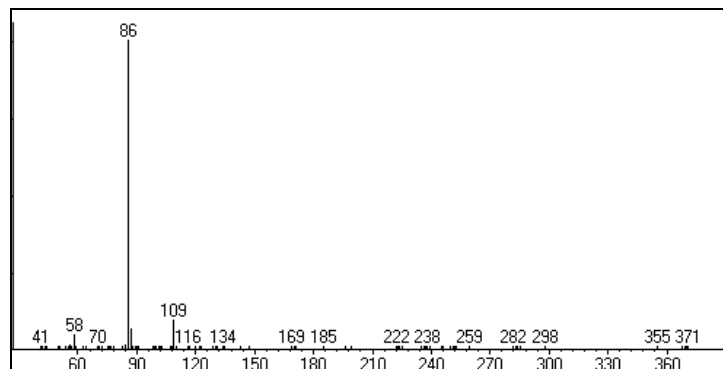
測定条件 2 (合成カンナビノイドを対象とした測定条件)

Compounds	GC-MS 条件 2		LC-PDA-MS 条件 2	
	Retention time (min)	Relative retention time 5-MeO-DMT = 1	Retention time (min)	Relative retention time 吉草酸ヘタメタゾン = 1
ADB-5'Br-PINACA	18.49	3.76	14.5	1.63
5-MeO-DMT	4.89	1.00	—	
吉草酸ヘタメタゾン	—		8.9	1.00

③各物質の GC-MS 及び LC-PDA-MS 測定におけるスペクトルデータ

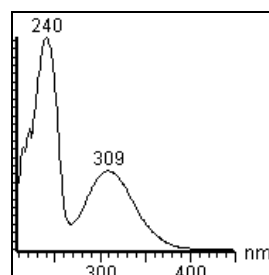
1) Flunitazene

GC-MS

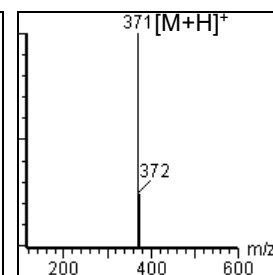


LC-PDA-MS (positive mode)

UV スペクトル (nm)

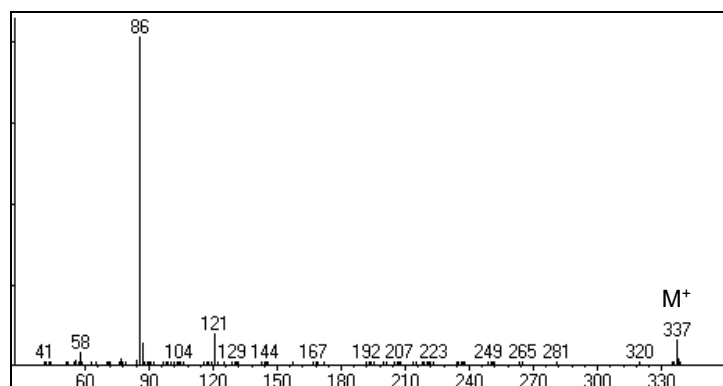


マスペクトル (m/z)



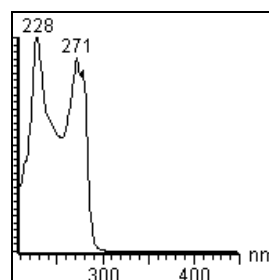
2) Metodesnitazene

GC-MS

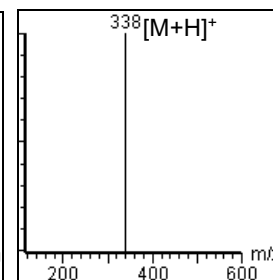


LC-PDA-MS (positive mode)

UV スペクトル (nm)

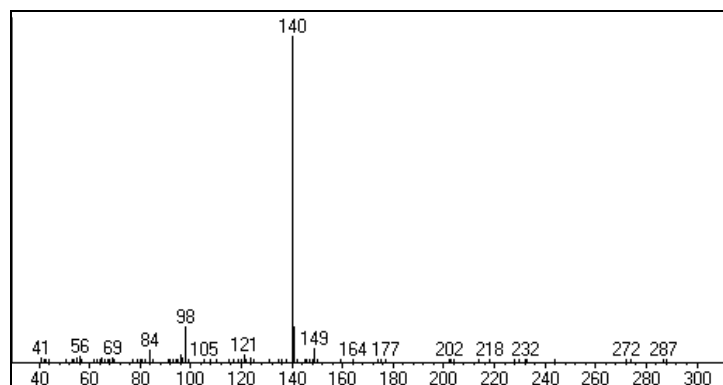


マスペクトル (m/z)



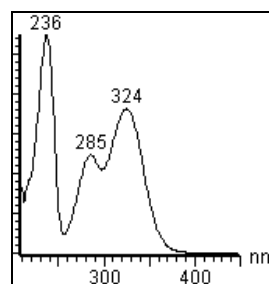
3) MD-PiHP

GC-MS

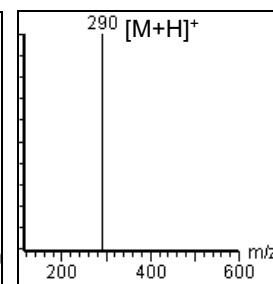


LC-PDA-MS (positive mode)

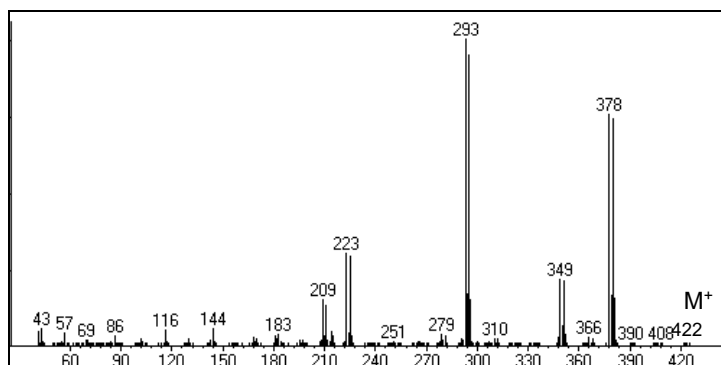
UV スペクトル (nm)



マスペクトル (m/z)



4) ADB-5'Br-PINACA
GC-MS



LC-PDA-MS (positive mode)

UV スペクトル (nm)

マスマスペクトル (m/z)

